

大学院課程教育における自己点検とその改善に関する年次報告書（総評）

スマートソサイエティ実践科学研究院博士課程後期

1. 評価結果一覧

自己点検・評価単位	分析 項目 1-1-1	分析 項目 2-1-1	分析 項目 2-1-2	分析 項目 2-2-1	分析 項目 2-2-2	分析 項目 3-1-1	分析 項目 4-1-1	分析 項目 4-2-1	分析 項目 4-2-2	分析 項目 5-1-1	分析 項目 5-1-2	分析 項目 5-2-1
スマートソサイエティ実践科学研究院	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

自己点検・評価単位	分析 項目 6-1-1	分析 項目 6-1-2	分析 項目 6-2-1	分析 項目 6-3-1	分析 項目 6-3-2	分析 項目 6-3-3	分析 項目 6-4-1	分析 項目 6-4-2	分析 項目 6-4-3	分析 項目 6-5-1	分析 項目 6-6-1	分析 項目 6-6-2
スマートソサイエティ実践科学研究院	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	—	—

自己点検・評価単位	分析 項目 6-6-3	分析 項目 6-6-4	分析 項目 6-6-5	分析 項目 7-1-1	分析 項目 7-1-2	分析 項目 8-1-1	分析 項目 8-1-2
スマートソサイエティ実践科学研究院	⑤	—	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

(⑤十分に適合する ④適合する ③やや適合する ②余り適合しない ①適合しない)

2. 評価結果に対する総評

スマートソサイエティ実践科学研究院は先端的学問分野を融合した新しいトランスディシプリナリな研究分野であるスマートソサイエティ実践科学を構築し、先進国の経済発展により生じた社会的課題を解決するとともに、持続可能な経済発展モデルである Society 5.0 を開発途上国において展開することを目的とし、2023年4月に発足した。

広島大学では2019年から2020年にかけて大学院を11研究科から4研究科に再編し、他分野との融合・連携を進めてきたが、本研究院では、Society 5.0の国際展開を見据え、4研究科の専門分野をも超える革新的な枠組を用いて、社会の要請の変化に対応可能な教育課程を提供することで、Society 5.0に関心を持つ学生を世界中から集め、育成することを特色としている。

本研究院には専攻、プログラムといった組織を設けず、それぞれの学生が軸足を置く6つの研究領域(Cyber Physical System, Smart Mobility, Smart Energy, Smart Agriculture, Global Health and Medical Science, Social Innovation Science)で類別している。学生は各々の領域で定められた授業科目のみを履修するわけではなく、6つの研究領域を横断する教育を受けることとなる。よって、自己点検・評価単位も研究院単位(スマートソサエティ実践科学研究院)とする。

なお、特色ある取組として、学生への指導、相談体制充実のため、主指導教員による指導状況調査及び副指導教員による面談を実施している他、学生の成果発表の機会提供や研究の進捗状況確認のため、該当学年全員が参加する中間発表会を実施し、優秀者の表彰を行っている。